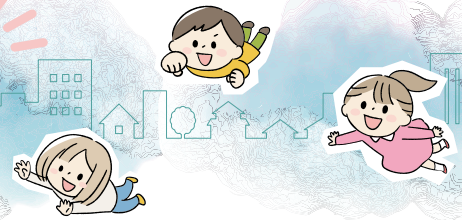




# まちの話題



4月8日[Mon]

## 交通安全のために園児も活躍！



▲先を急ぐドライバーも園児の頑張りに思わず笑顔を見せました

春の交通安全県民運動（4月6日～15日）のマナーアップキャンペーンに伴い、南多久町西ノ谷地区で、道路通行中の一般車両を対象にチラシとグッズの配布を行いました。

小城警察署、多久市交通安全協会、多久市交通安全指導員会が参加しました。また、今回特別にこぼと保育園の園児に参加いただきました。園児たちが停車した車に対し「おはようございます。交通安全お願いします」と元気な声で呼び掛けると、ドライバーは笑顔で応えていました。

多久市交通安全協会の飯盛康登会長は「こぼと保育園の園児さんの協力に感謝します。1件でも地域から交通事故を減らせるよう活動を続けていきたいです」と話されました。



4月11日[Thu]

## 義務教育学校で入学式



▲新入生は、期待に胸をふくらませ、入学式に参加しました

市内の義務教育学校3校で入学式が行われ、中央校69人、東部校30人、西溪校18人の新1年生が晴れの日を迎えました。

東部校では全校児童生徒が式に出席し、1年生は7年生と手をつないで入場。富増晃二校長は「自分でできることは自分でやってみましょう。元気に挨拶しましょう。そして、上級生は手助けをしてあげてください」と挨拶しました。

在校生代表挨拶では、9年生の三ヶ島幸さんが「今年、私たち9年生が、命の大切さを学ぶ授業をしに行きます。一緒に学び、楽しい学校生活にしましょう」と歓迎の言葉を贈りました。

4月12日[Fri]

## 国スポに向け市内義務教育学校生徒がPRプランを提案！



▲魅力ある国スポに向けて市長にプレゼンテーションする各校の生徒会長のみなさん

今秋のSAGA2024国民スポーツ大会に向けて、市内義務教育学校の生徒が横尾俊彦市長に大会を盛り上げるためのプレゼンテーションを行いました。発表したのは各校の生徒会長を務める9年生東原席舎東部校の大倉颯太さん、中央校の大坪美優さん、西溪校の梶原宏聖さんの3人。3校それぞれが自主的に考えたアイデアを熱心に伝えました。提案を受け、横尾市長は「みなさんの若い感覚を取り入れ、みんなが応援できる国民スポーツ大会を開催し、一緒に成功へと導いていきたい」とにこやかに述べられました。

